

平成25年度入試【推薦入試Ⅰ】

【小論文】

(法文学部 言語文化学科)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は4ページである。解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(山田雄一郎『外来語の社会学』による)

- 問1 下線部①について、「記号的意味を包んだ連想的意味の層」とはどのようなものか、本文に即して説明しなさい。
- 問2 下線部②について、「意味の逸脱を起こしている」と思われる外来語を本文の例以外に一つ挙げ、それがどのような逸脱を起こしているか、具体的に説明しなさい。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(小松美彦『自己決定権は幻想である』による。一部改変)

(注) 原理主義：ここでは、原理原則にこだわる考え方をいう。

問1 下線部①について、「縦糸と横糸を抽象的に混同する」とはどのようなことを言っているのか、本文に即して説明しなさい。

問2 下線部②について、自己決定権を重視すると、なぜ「個々の場面や人間のつながりのもつ具体性は切り捨てられる」のか、本文に即して説明しなさい。